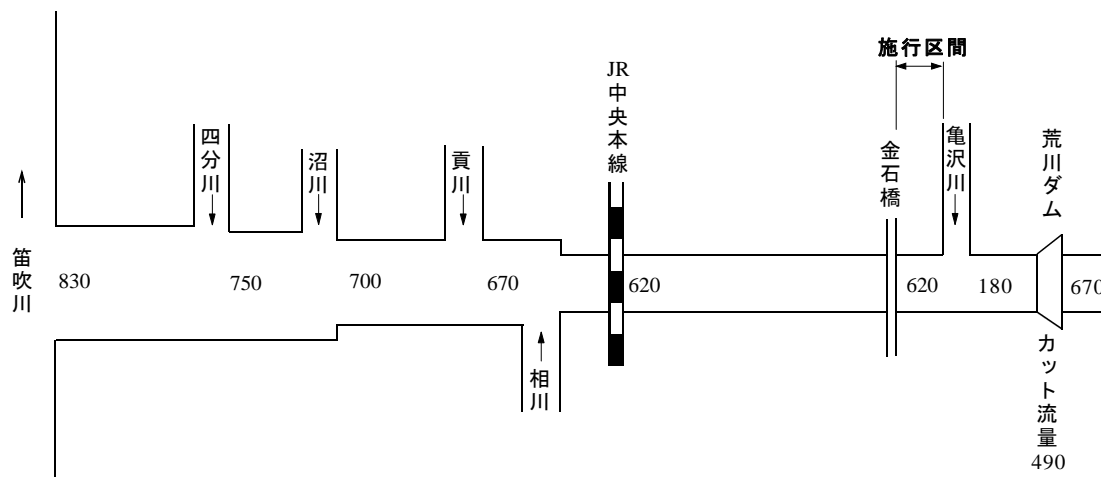


(10) 荒川

荒川は人口・資産が集中する甲府市を流下する圏域内最大規模の河川であり、流域の都市化が著しいことから、基本高水のピーク流量は、年超過確率 1 / 80 年規模の洪水を考慮して、金石橋基準地点において 1,050^{かないしぼし}m³/s とします。このうち上流の荒川ダムにより 490m³/s を調節して、河道への流量配分を 620m³/s とし、計画高水位以下の水位で安全に流下させるものとします。

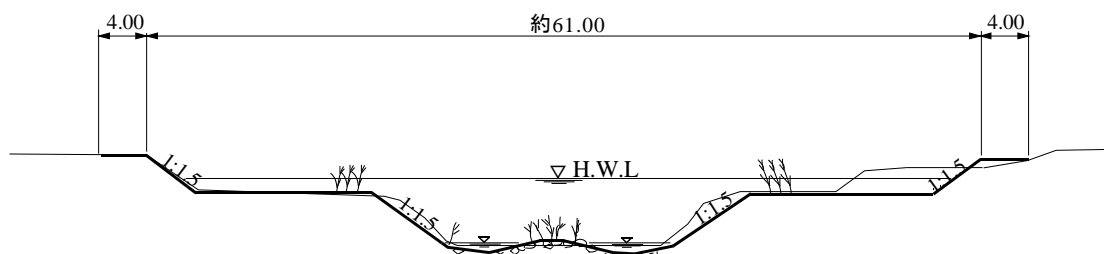
河川工事の実施にあたっては、河道を拡幅する区間について河床に起伏をつけたり、魚類の移動経路を確保します。また、現況の河道内樹木が洪水流下の妨げとなる場合は、動植物の生息・生育・繁殖環境への影響に配慮しつつ伐採するなど、適切な処理を行い多様な河川環境の整備を図ります。

河川工事の施行の場所	河川工事の内容
金石橋上流～亀沢川合流点下流 L = 約 900m	掘削、護岸工、護床工等

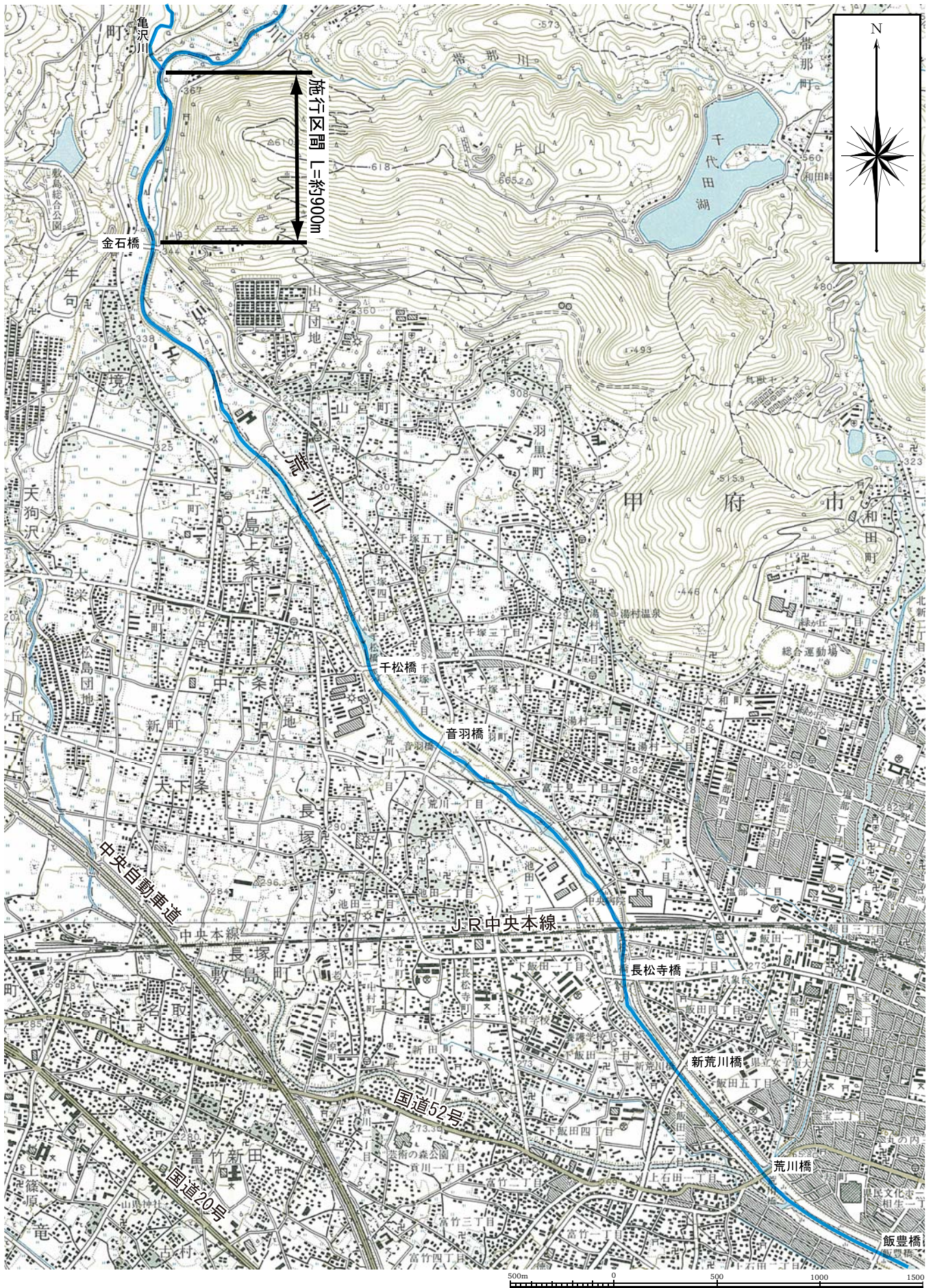


荒川計画流量配分図

単位：m³/s



「金石橋」上流付近



SCALE

河川工事の施行位置図（荒川）

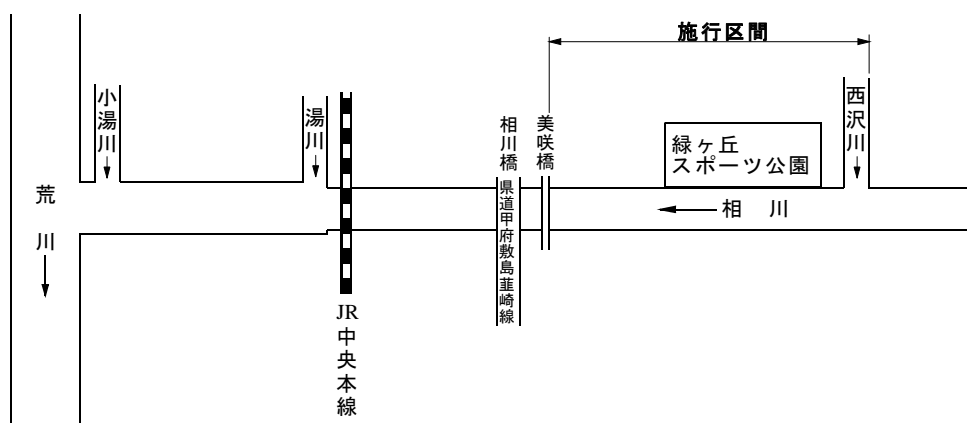
(11) 相 川

相川は人口・資産が集中する甲府市の中心市街地を流下する河川であり、また、ナウマンゾウの化石発見もあって、地域住民から地域のシンボルの河川として親しまれています。

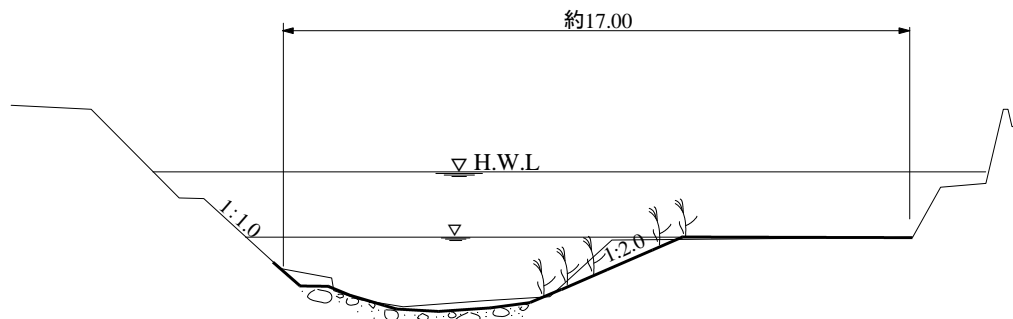
沿川には北新ほくしん小学校をはじめ多くの文教施設やスポーツ公園施設が点在しており、このような施設と連携し、有効活用できる水辺空間となるよう、河川環境と親水性に配慮して、河川整備を行うものとします。

河川工事の実施にあたっては、河床に起伏をつけたり、魚類の移動経路を確保するなど、動植物の生息・生育・繁殖環境に配慮した多様な河川環境の整備を図ります。また、親水性に配慮した整備を図ります。

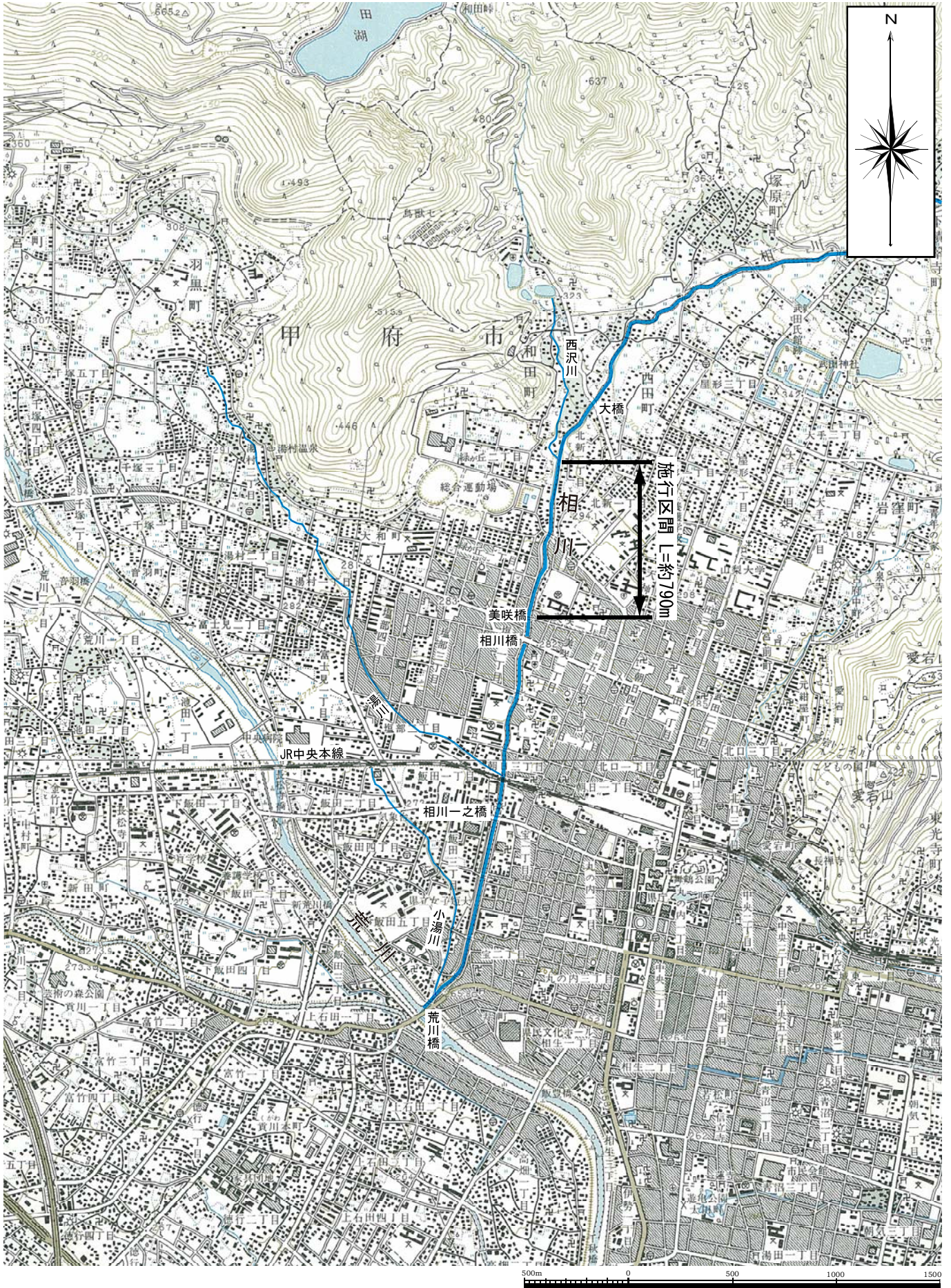
河川工事の施行の場所	河川工事の内容
美咲橋上流～西沢川合流点付近 (緑ヶ丘スポーツ公園付近) L = 約 790m	護岸工、高水敷整備等



相川施行区間概要図



緑ヶ丘スポーツ公園付近



河川工事の施行位置図（相川）